

尿検査の支援を ～「子ども支援 WEEK」～

チャイアのネット 辻淑子

私たち「チャイアのネット」は、母親を中心にあきる野市内で活動している市民グループです。市内の小・中・幼・保育園の給食について、市に放射能検査を要望し実現させると共に、自分たちでも気になる食品や土壌の放射能測定をおこなってきました。

その一方で、あきる野市よりもはるかに放射能汚染の深刻な原発事故被災地の子どもたちのことが気掛かりで、何かできないか……という思いが当初からありました。

そうした中、フクロウの会が進めている尿検査（尿に含まれるセシウムの量により内部被ばくの実態を調べる）のことで知り、少しでも多くの子どもたちが尿検査を受けられるよう、検査費用を集めることにしました。それが、「子ども支援 WEEK」で地元の個人店を中心に協力店を募り、期間中の売り上げの一部を尿検査費用として寄付してもらうキャンペーン活動です。メンバーで手分けをしてお店を回り、現在、27店舗が協力店になってくれています（募金箱のみ設置のお店を含む）。

キャンペーン中には街角に出て「協力店に行って、買い物や食事をするのが、被災地の子どもたちの支援になります!」「お店には募金箱も置いてあります!」と、協力店を掲載したチラシを配りながらアピールし、街頭募金も行なっています。

同時に、被災地では今も不安を抱えながら子育てしている親がたくさんいることや、実際に尿検査でセシウムが検出されるお子さんがいることなどを、道行く人々に語りかけています。尿検査費用を支援することと同時に、被災地の実態を多くの人々に伝えていくことが、「子ども支援WEEK」のねらいだからです。

昨年12月のクリスマスシーズンにおこなった第1期の子ども支援 WEEK では、16万円を超える寄付が集まりました。この寄付金で、現在、伊達市のお子さんの尿検査を進めています。

